

令和 4 年度事業報告及び
令和 5 年度事業計画について
(飯能市地域公共交通計画の評価等の結果)

令和 5 年 6 月 1 9 日

飯能市地域公共交通対策協議会

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

飯能市地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

| 目標 | 目標を達成するための取組 | 調査方法 | 達成状況・分析 | 評価・次年度に向けた課題や取組 | 備考 |
|---|--|----------------|---|--|--|
| 基本目標1に対する目標指標 年間輸送人員／実車走行キロ ・市内全路線 当初2.03人／kmから 現状維持 ・軸となる路線 当初2.41人／kmから 増加 | ・施策1 バス路線の維持と継続的な見直し ・施策2 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施 ・施策3 バス運行環境の整備 ・施策4 需要に対応したバス路線の見直し | 対象となる交通事業者への照会 | 年間輸送人員／実車走行キロ (令和4年度) ・市内全路線 1.72人／km ・軸となる路線 1.91人／km | ・市と交通事業者が締結している運行継続のための協定に基づく補助金を継続する。 ・観光施策と連携した公共交通の利用促進事業を引き続き推進する。 ・その他、必要に応じてバス路線の見直しや運行環境の整備について検討する。 | 次期計画（第2次飯能市公共交通計画）において以下のとおり目標指標として設定した。 基本目標1：みんなでもより、育てる公共交通 指標1-1：実車走行距離あたり利用者数（市内全路線） 指標1-2：実車走行距離あたり利用者数（地域幹線） |
| 基本目標2に対する目標指標 路線バスを1年間に1回以上利用した割合 ・当初41% ⇒ 43% (2ポイントの増加) | ・施策1 バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進 ・施策2 市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施 ・施策3 マイバス意識の醸成 ・施策4 公共交通利用のための利便性の向上 | 市民アンケート調査 | 路線バスを1年間に1回以上利用した割合 (令和4年度) ・ 34% | ・公共交通の現状等について、各種事業及び市広報紙等の媒体を通して引き続き情報発信に努める。 ・市内の公共交通の路線や使いかたについて、新しく作成した「飯能市公共交通マップ」を活用しより市民（利用者）に対してわかりやすく周知をする。 ・高等学校等の生徒等に対する通学費補助を継続するとともに、高齢者のおでかけ支援事業創設について検討を進める。 | 次期計画（第2次飯能市公共交通計画）において以下のとおり目標指標として設定した。 基本目標2：みんなが使いやすい公共交通 指標2-2：路線バスを年間1回以上利用した割合 |
| 基本目標3に対する目標指標 将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合 ・全年代 当初58% ⇒ 58%未達 ・65歳以上 当初84% ⇒ 84%未達 | ・施策1 「おでかけ」を守るための検討 ・施策2 社会資源の活用の検討 | 市民アンケート調査 | 将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合 (令和4年度) ・全年代 63% ・65歳以上 85% | ・原市場地区、南高麗地区のコミュニティバス路線について、令和5年9月1日から本格運行を開始する予定である。 ・精明地区、加治地区のコミュニティバス路線について、運行情報のオープンデータ化を進めるとともに、新しい道路の開通等による路線変更を検討する。 ・社会資源の活用により、公共交通が不十分である地域における移動手段確保の検討をする。 | 次期計画（第2次飯能市公共交通計画）において以下のとおり目標指標として設定した。 基本目標2：みんなが使いやすい公共交通 指標2-1：将来（10年後）の外出に不安を感じる人の割合 |

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「-」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

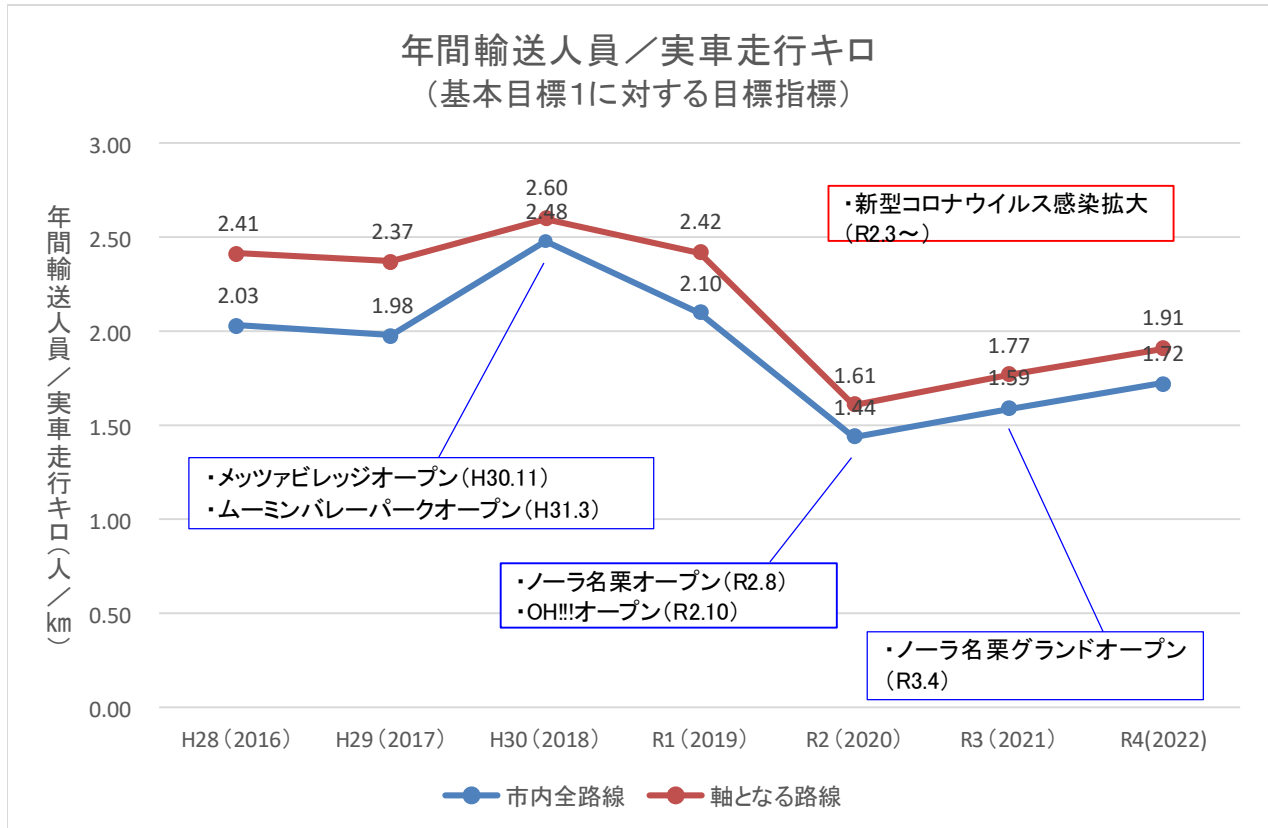
参考資料

飯能市地域公共交通計画 基本目標1に対する目標指標： 年間輸送人員／実車走行キロ

■目標値

- ・市内全路線 当初 2.03 人／kmから現状維持
- ・軸となる路線 当初 2.41 人／kmから増加

■数値推移 (H28～R4)



軸となる路線：

- ・国際興業バス 名栗本線 (湯の沢線、名栗車庫線、名郷線、上赤沢線)、双柳循環線、西武飯能日高線
- ・西武バス 美杉台線
- ・三社共同運行 メツァ線

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

基本目標 1：地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」

■施策 1 バス路線の維持と継続的な見直し

- 国際興業(株)と市の協定締結（継続）
R5.4.1～R8.3.31 までの運行に係る協定を締結した。
- 国際興業バス 4 路線に対する補助金の交付
地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。
補助金交付路線：国際興業バス 湯の沢線、名栗車庫線、中沢線、間野黒指線
- 燃料費高騰対策として市内交通事業者に対する支援金の交付
国の地方創生臨時交付金を活用し、市内路線バス事業者、タクシー事業者等に対し、事業継続に向けた支援金を交付した。（2回、総額約 5,482 万円）

■施策 2 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施

- 各エコツアーの実施
・路線バスの利用につながるツアー 27 回開催（参加総数 延べ 248 人）
- さようなら「ヤマノススメ」ラッピングバス展示会（国際興業）
実施日：1/9 会場：飯能中央公園 主催：飯能アニメリズム実行委員会
内容：ラッピングバス 2、3 号車展示ほか 参加：1,100 人
- サイクルトレイン運行開始（西武鉄道）
実施日：3/21～除外日を除く土休日に実施
内容：S-TRAIN の石神井公園～飯能・西武秩父駅間で運行
- 「Moi! MOOMIN HANNO ラッピングトレイン」運行（西武鉄道）
西武鉄道(株)と奥むさし飯能観光協会が水と緑の交流拠点・飯能 街なか回遊・認知向上促進事業「Moi! MOOMIN HANNO」として実施した。
運行日：3/5～当面の間
- 「ムーミンバレーパーク」ラッピングバス運行（各バス事業者）
運行日：3月下旬～当面の間
運行バス：西武バス、イーグルバス、国際興業バス 各 1 両
運行区間：飯能駅北口～メツア、飯能駅北口～メツア～武蔵高萩駅など
- 「わくわく NAGURI 通信」第 10 号の発行
わくわく名栗クラブ情報発信部会が発行し、国際興業バス車内で配布した。

■施策 3 バス運行環境の整備

- 新寺、飯能駅、東飯能駅におけるバス待合環境の改善
各バス停に待合のためのベンチ（はしらベンチ）を設置した。
「新寺」バス停の乗換環境を整備した。



■施策 4 需要に対応したバス路線の見直し

- 原市場（中藤・中沢）地区・南高麗地区の路線再編（実証運行）開始
国際興業バス中藤・中沢線、間野黒指線の再編にともない、大型バスのみでの運行から移行し、飯能市乗合ワゴン等の実証運行を開始した。
運行事業者：国際興業(株)に決定 ※前年度 3 月に公募
運行開始日：9/1 ※両地区で出発式を実施



基本目標 2：路線バスを身近にして公共交通を「育てる」

■施策 1 バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進

- 「飯能市バス観光案内図」の更新
飯能駅北口に設置した「飯能市バス観光案内図」看板の盤面の内容を更新した。
- 「飯能市公共交通マップ」の作成
飯能市バスルートマップを刷新し、新たに飯能市公共交通マップを作成した。



■施策 2 市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施 / ■施策 3 マイバス意識の醸成

- 出前講座の実施
飯能市自治会連合会名栗支部からの依頼で自治会長向けに実施した。
題目 公共交通について 実施日 12/19
会場 市民活動センター 参加者 9 人

名栗街道乗合バス開通 100 周年記念事業の実施（国際興業(株)・市共催）

- 記念展示「名栗バス路線展」開催
期間：7/20～8/15 8/20～9/9 9/22～10/31 11/2～11/30
会場：博物館、市民活動センター、地区行政センター（名栗・原市場）
内容：名栗街道にバスが開通する少し前から現代に至るまでの写真や物品展示

- 「なるほど！乗合バス！ in みんな活サマー2022」開催
実施日：8/7 会場：市民活動センター
内容：記念乗車券の販売、スタンプラリー、バスクイズなど
参加：約 110 人



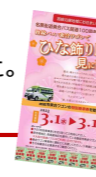
- ギャラリーバス「昔のバス・未来のバスはどんなバス？～児童絵画展～」運行
期間：11/1～1/31 国際興業バス車内で展示
内容：市内小学生から募集したバスの絵を展示して運行した。



- 記念乗車券・記念グッズ販売
内容：記念乗車券、記念グッズ（本革バッグタグ）を販売した。
- 「名栗にバスが通って 100 周年！国際興業バスまつり」開催
実施日：2/26 会場：飯能中央公園
内容：車両展示、バスに関するイベント
参加：1,650 人



- 「飯能市乗合ワゴン特別乗車キャンペーン」実施
期間：3/1～3/12 対象：南高麗・原市場・名栗地区
内容：「飯能ひな飾り展」に合わせ特別乗車券付きリーフレットを配布した。
実績：使用枚数 19 枚（原市場系統） 62 枚（南高麗系統）



■施策 4 公共交通利用のための利便性の向上

- 高等学校等通学費補助制度による支援 ※（ ）内前年度比
実績：交付件数 147 件（+100 件） 交付者数 128 人（+81 人）
補助金額 約 670 万円（+約 550 万円）

基本目標 3：生活を支える公共交通手段を「つくる」

■施策 1 「おでかけ」を守るための検討

- 飯能市地域公共交通対策協議会(分科会)の開催
協議会を 6 回（うち書面開催 3 回）、バス事業者分科会を 3 回開催した。
各協議会の議事

- ・第 18 回(5/30)：支線乗合交通の実証運行案についてほか
- ・第 19 回(書面)：スクールバスの混乗化に伴う運賃設定について
- ・第 20 回(11/7)：飯能市地域公共交通計画（素案）について ほか
- ・第 21 回(書面)：地域内フィーダー系統確保維持事業に係る一次評価について ほか
- ・第 22 回(書面)：国際興業バスの一部系統における協議運賃適用除外について
- ・第 23 回(3/29)：第 2 次飯能市地域公共交通計画（案）について ほか

▶「第 2 次飯能市地域公共交通計画」(期間：R5～R9) を策定

- 飯能市公共交通空白地有償運送支援事業補助金による支援
交付実績：50 万円

令和 4 年度「奥武蔵らくらく交通」実績 (R4.4～R5.3) ※（ ）内前年比
運行回数：918 回（-49 回） 輸送人員：1,164 人（-114 人）
走行距離：7400.5 km（+750.8km）

■施策 2 社会資源の活用の検討

- 「飯能リハビリ館送迎車両の空席を活用した住民移送事業」実証運行
市と医療法人徳明会の協定締結により、南高麗地区において路線バスの空白時間帯に限り、間野黒指～小室クリニック間において実証運行を引き続き行った。

令和 4 年度「飯能リハビリ館移送サービス」実績

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| ○経路変更前 R4.4～R4.8 | ○経路変更後 R4.10～R5.3 |
| 運行日数：毎週金曜日 22 日 | 運行日数：毎週火曜日 25 日 |
| 利用者数：延べ 38 人（日平均 1.73 人） | 利用者数：延べ 37 人（日平均 1.54 人） |
| 登録者数：46 名 | 登録者数：53 名 |



- 精明地区・加治地区 飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の運行
精明地区・加治地区において運行した。

令和 4 年度飯能市乗合ワゴン運行実績 (R4.4.1～R5.3.31)

- ・運行便数 1,176 便
- ・利用者数 4,489 人 便平均 **3.82 人**
 - ・精明東 1,478 人 便平均 **5.03 人**
 - ・精明西 1,069 人 便平均 **3.64 人**
 - ・加治 1,942 人 便平均 **3.30 人**



- スクールバスの活用
奥武蔵小学校スクールバスの一般住民の混乗制度については、新型コロナウイルス感染症の影響で混乗を休止中。

第2次飯能市地域公共交通計画 令和5年度事業計画（案）

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

| 基本目標1 みんなでまもり、育てる公共交通 ～利用促進・意識啓発・担い手支援～ | | | 基本目標2 みんなが使いやすい公共交通 ～運行環境整備・利便性向上～ | | | 基本目標3 みんなでつくる公共交通 ～地域公共交通網のり・デザイン～ | | |
|---|-------------------------|----------|---|----------|----------|---|----------|----------|
| 目標指標 | 基準値 (R3) | 目標値 (R9) | 目標指標 | 基準値 (R4) | 目標値 (R9) | 目標指標 | 基準値 (R4) | 目標値 (R9) |
| 実車走行距離あたり利用者数 (市内全路線) | 1.62人/km (スクール路線を含む) | ▶ 基準値以上 | 将来(10年後)の外出に不安を感じる人の割合 | 63% | ▶ 63%未満 | 飯能市乗合ワゴン(精明地区・加治地区)の収支率 | 15.0% | ▶ 20.0% |
| 実車走行距離あたり利用者数 (地域幹線) | 1.77人/km | ▶ 基準値以上 | 路線バスを年間1回以上利用した割合 | 34% | ▶ 40%以上 | 公共交通利便地域の人口割合 | 65.2% | ▶ 現状維持 |
| 施策1：地域主体の利用促進事業 ○地域団体による利用促進 ・地域が主体となり、公共交通を使ったイベントやスタンプラリー等を実施する。 施策2：交通事業者等による利用促進事業 ○交通事業者、市内商業施設等が連携した利用促進 ・交通事業者、市内の商業施設が連携し事業を実施する。 ・「ヤマノススメ」などを活用した利用促進事業を実施する。 施策3：市主体のモビリティ・マネジメント ○公共交通を理解してもらおう取組の実施 ・市のイベント等においてバスの乗り方教室など利用促進、意識啓発のための事業を実施する。 ・「飯能市公共交通マップ」を活用するなど、わかりやすい公共交通を目指した取組を実施する。 施策4：利用者への支援制度の充実 ○高齢者おでかけ支援制度の創設検討 ・市に「高齢者おでかけ支援事業検討会議」を設置する。 ・「高齢者」及び「運転免許返納者」に対する支援策を検討する。 ・令和6年度からの事業化を目指す。 ○高等学校等通学費補助制度の継続 ・引き続き制度周知をする。 施策5：担い手への支援の充実 ○公共交通空白地有償運送事業補助制度の継続 ・引き続き自家用有償旅客運送事業者を支援する。 ○市内での国交省認定講習会の開催 ・担い手確保の一環で市内で講習会を受講できるよう検討する。 ○担い手不足解消の検討 ・その他交通事業者等の運転士(担い手)不足解消のための取組を検討する。 | | | 施策1：利用しやすい待合環境の整備と情報発信 ○飯能市乗合ワゴン(精明・加治)の時刻表のオープンデータ化 ・GTFSを活用し、運行時刻や運行状況をネット検索できるようデータ作成する。  ○各バス停へのベンチ設置に関するルール作成検討 ・各バス停のベンチ設置に関するルール作成を検討する。  △東飯能駅ロータリー(左) / ノーラ名栗・さわらびの湯(中) / 飯能靖和病院(右) 施策2：乗継環境と道路環境の整備 ○新寺バス停の整備 ・中藤地区の支線と国際興業バス名栗本線の乗継拠点である「新寺」バス停付近の整備を検討する。  △現在の「新寺」バス停 ○市内道路環境の整備 ・元加治駅南口開設、阿須小久保線の開通など市内道路網の課題解決に向けた取組を推進する。 施策3：バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進 ○飯能市乗合ワゴン(精明・加治)のキャッシュレス決済導入検討 ・運行事業者である西武ハイヤー(株)と協議し、検討を進める。 | | | 施策1：需要と供給に対応した路線設定 ○原市場地区、南高麗地区における路線再編 ・9月1日～両地区の飯能市乗合ワゴン等の本格運行を開始する。 ・地域(利用者)との協働による運行内容の見直し検討を開始する。  ○飯能市乗合ワゴン(精明・加治)の一部経路変更 ・運行上の安全を確保するため一部経路を変更する。 ○美杉台地区 西武バス自動運転実証実験の実施 ・7月中旬、飯能駅南口～美杉台ニュータウン間で実施する。 ・安全性、走行性等を検証し、持続可能なまちづくりにおけるモビリティサービスを研究する。  施策2：地域資源の総動員による移動手段の確保 ○奥武蔵小学校スクールバス混乗制度の再開 ・コロナ禍後の制度再開に向けて市、教育委員会(奥武蔵小学校)、PTAで協議、検討する。 ○送迎バス等の活用 ・飯能リハビリ館移送サービスを継続して実施する。 ・その他、送迎バス等の活用による移動手段を検討する。 施策3：交通事業者と市のパートナーシップの継続 ○国際興業バス名栗本線に対する補助金の継続 ・市と国際興業(株)との協定に基づき、湯の沢線、名栗車庫線等の運行に対する補助を実施する。 ○飯能市地域旅客運送サービス継続実施計画による再編事業 ・原市場、南高麗地区の飯能市乗合ワゴン等を地域内フィーダー系統(国庫補助)の補助対象とする。 ・補助事業を活用して予備車両1台取得する。 | | |

飯能市地域公共交通計画

令和4年度 事業報告

令和5年6月

飯能市地域公共交通対策協議会
(事務局：飯能市市民生活部交通政策課)

飯能市地域公共交通計画の取組一覧

| 基本目標 | 施策 | 施策名 | R4実績 | | | 次期計画関連項目 | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------|-------|----|----------|-------|-------|------|---|
| | | | 未実施 | 研究・検討 | 実施 | 基本目標1 | 基本目標2 | 基本目標3 | 掲載なし | |
| 基本目標1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」 | 施策1：バス路線の維持と継続的な見直し | ① 交通事業者との連携強化 | | | ○ | | | ○ | | |
| | | ② 補助金の継続 | | | ○ | | | ○ | | |
| | | ③ 利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し | | | ○ | | | ○ | | |
| | 施策2：観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施 | ① 観光施策と連携した利用促進 | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ② 市内コンテンツを活用した利用促進 | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ③ おでかけ促進と連携した利用促進 | | | ○ | ○ | | | | |
| | 施策3：バス運行環境の整備 | ① バス停の待合環境の改善 | | | ○ | | ○ | | | |
| | | ② 施設を活用した待合環境の整備 | | | ○ | | ○ | | | |
| | | ③ 飯能駅北口ロータリー周辺の使い方 | | | ○ | | ○ | | | |
| | | ④ 市内道路網の課題解決に向けた取組の実施 | | | ○ | | ○ | | | |
| | 施策4：需要に対応したバス路線の見直し | ① 施設立地等に対応したバス路線の見直し | | | ○ | | | ○ | | |
| | 基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」 | 施策1：バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進 | ① わかりやすいバス案内看板の設置 | | | ○ | ○ | | | |
| ② バスマップの作成・配布 | | | | | ○ | ○ | | | | |
| 施策2：市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施 | | ① まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ② 通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント | | | ○ | ○ | | | | |
| 施策3：マイバス意識の醸成 | | ① バスを使ってもらう取組 | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ② バスのことを理解してもらう取組 | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ③ 地域におけるマイバス意識の醸成 | | | ○ | ○ | | | | |
| 施策4：公共交通利用のための利便性の向上 | | ① 乗換利便性の向上 | | | ○ | | ○ | | | |
| | | ② 高等学校等バス通学費補助 | | | ○ | ○ | | | | |
| | | ③ 利便性向上のための設備投資 | | | ○ | | ○ | | | |
| 基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」 | | 施策1：「おでかけ」を守るための検討 | ① 飯能市地域公共交通対策協議会の運営 | | | ○ | | | | ○ |
| | | | ② 地域での交通手段を導入するための仕組みづくり | | | ○ | | ○ | | |
| | ③ 地域による主体的な運営組織づくり | | | | ○ | | ○ | | | |
| | 施策2：社会資源の活用検討 | ① スクールバスの混乗 | ○ | | | | | ○ | | |
| ② 送迎バスの活用検討 | | | | ○ | | | ○ | | | |

基本目標1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」

| | | | | | | |
|---|----------------|-----------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 1 | バス路線の維持と継続的な見直し | | | | |
| 施策名 | ① | 交通事業者との連携強化 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 市と国際興業(株)の協定に基づく飯能営業所存続に関する協議をはじめ市内路線の維持確保のための意見交換を行った。 →「飯能営業所存続及び今後の同営業所の運営に関する協定」を令和8年3月31日まで更新した。 西武バス(株)と市では美杉台路線における自動運転実証実験等について打ち合わせや情報交換を行っている。 その他、市内交通事業者と市では地域公共交通対策協議会や各事業などを通して情報共有、意見交換を行っている。 | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 市内路線の維持、確保のため補助金を交付している国際興業(株)と市では今後も連携を密にし、各路線の利用状況等について情報共有する。 各交通事業者と市においては、今後も引き続き情報共有、意見交換を行っていく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標3 施策3 | |

| 施策 | 1 | バス路線の維持と継続的な見直し | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------|-----------------|-----|-----|-----------|-----|----|---------|-----------------------|------------------|-----------|--------------------------|-------------------|-----------|
| 施策名 | ② | 補助金の継続 | | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | | | | | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | | | | | | | | | |
| 市 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | | | | | | | | | |
| R04実績 | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○国際興業バス路線に対する補助金交付</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、国際興業バス4路線に対して補助金を交付した。補助金交付により、山間地域の住民の通勤、通学をはじめ、高齢者等の通院、買い物等の移動の足を確保している。当該路線は、地域住民のおでかけの足としてだけでなく、ハイカー等の観光客の足としてもなくてはならないものである。 <p>補助対象路線 ・湯の沢線 ・名栗車庫線 ・間野黒指線 ・中沢線</p> <p>○市内通学用バスに対する運行費補助金交付</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校（飯能第一小、飯能第二小、南高麗小、原市場小）の通学用バスに対する運行費補助金を交付した。 <p>○燃料費高騰対策関連支援金の交付</p> <p>国の地方創生臨時交付金を活用し、市内交通事業者に対して以下のとおり支援金等を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>対象</th> <th>支援額（実績）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①令和4年度飯能市地域公共交通事業者支援金</td> <td>・路線バス事業者、タクシー事業者</td> <td>・30,723千円</td> </tr> <tr> <td>②令和4年度第2次飯能市地域公共交通事業者支援金</td> <td>・路線バス事業者、タクシー事業者等</td> <td>・23,600千円</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 事業名 | 対象 | 支援額（実績） | ①令和4年度飯能市地域公共交通事業者支援金 | ・路線バス事業者、タクシー事業者 | ・30,723千円 | ②令和4年度第2次飯能市地域公共交通事業者支援金 | ・路線バス事業者、タクシー事業者等 | ・23,600千円 |
| 事業名 | 対象 | 支援額（実績） | | | | | | | | | | | | |
| ①令和4年度飯能市地域公共交通事業者支援金 | ・路線バス事業者、タクシー事業者 | ・30,723千円 | | | | | | | | | | | | |
| ②令和4年度第2次飯能市地域公共交通事業者支援金 | ・路線バス事業者、タクシー事業者等 | ・23,600千円 | | | | | | | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 路線バスが基幹公共交通となっている地区を運行する路線バスについては、住民の移動手段としてだけでなく、市街地から山間地域の観光拠点等をつなぐ移動手段としての役割を果たしており、今後も補助金を継続し、維持確保していく必要がある。 補助金を交付してもなお維持が難しい路線については、利用者数の推移、沿線地域の状況等を十分に把握した上で、代替案の検討をあわせて進めていく。 国の地方創生臨時交付金等を活用し、引き続き市内交通事業者に対する支援等を検討する。 | | | | | 実施 | | | | | | | | | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | | | | | | | | | |
| | | | | | 基本目標3 施策3 | | | | | | | | | |


| | | | | | | |
|--|----------------|------------------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 1 | バス路線の維持と継続的な見直し | | | | |
| 施策名 | ③ | 利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○支線路線の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> 支線路線である国際興業バス中藤・中沢線、間野黒指線について路線再編を行い、令和4年9月1日から原市場地区3系統、南高麗地区3系統による実証運行を開始した。 当該路線について、令和5年2月に市職員による乗込調査を実施した。(各1日間) | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <p>○飯能市乗合ワゴン(原市場地区・南高麗地区)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 実証運行の結果を踏まえ、より安全に運行できる体制の構築のため、本格運行時に時刻表を改正する。 利用者数に関するデータ集計・分析を行い、運行経路や確保すべき運行水準を見極め、地域と協議しながら運行内容の検討を行う。 <p>○その他路線の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者の申し出に基づき、利用実績等をもとに必要に応じて市と交通事業者において協議を行う。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標3 施策1 | |


| | | | | | | |
|--|----------------|-------------------------|-----|-----|-------------|--|
| 施策 | 2 | 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施 | | | | |
| 施策名 | ① | 観光施策と連携した利用促進 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、地域、交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>観光施策と連携したバス・鉄道の利用促進を以下のとおり実施した。</p> <p>○各エコツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 27回 ※路線バスの利用につながるツアー 参加人数 248人 ※27回の合計人数 主な事業 名栗の名峰「棒ノ嶺 969m」世界中の山を登った、登山のプロと行く棒ノ嶺登山！ 幕末の名栗を知る旅 武州世直し一揆の足跡 ～松木観音堂参拝&仏像彫刻体験～ <p>○サイクルトレイン運行開始(西武鉄道)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施日 3/21～ 除外日を除く土休日に実施 内容 S-TRAINの石神井公園～飯能・西武秩父駅間で運行 <p>○ノーラ名栗によるイベント実施(※R3.10~R4.9実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ノーライベント 5回開催 308人参加 サウナイイベント 2回開催 41人参加 映画イベント 2回開催 293人参加 <p>○わくわく名栗クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> 3/1 「わくわくNAGURI通信」第10号を発行(上名栗の石仏特集) 東京都内、埼玉県内の国際興業バス車内で周知(配布) <p>○丸太雛めぐり in なぐり(2/21~3/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> 3/5 第8回なぐり見聞食ブラさんぽ | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、南高麗地区の「お散歩マーケット」は中止となった。 今後も市内の観光スポットでのイベント等をはじめ観光施策と連携した公共交通の利用促進事業を検討していく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策1~3 | |

| | | | | | |
|---|---------------|-------------------------|---|-----|-------------|
| 施策 | 2 | 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施 | | | |
| 施策名 | ② | 市内コンテンツを活用した利用促進 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| 交通事業者、 地域、市 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○さようなら「ヤマノススメ」ラッピングバス展示会 ヤマノススメラッピングバス2号車・3号車の運行終了にともない開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 1/9 ・会場 飯能中央公園 ・内容 ①ラッピングバス2号車・3号車の展示 ②バス最終運行情報等をパネル看板で掲出 ・来場者 1,100人 ・主催 飯能アニメツーリズム実行委員会 ほか | | |  <p>△「ヤマノススメ」ラッピングバス展示会</p> | | |
| <p>○「Moi! MOOMIN HANNOラッピングトレイン」運行（西武鉄道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武鉄道(株)と奥むさし飯能観光協会が水と緑の交流拠点・飯能 街なか回遊・認知向上促進事業「Moi! MOOMIN HANNO」として実施した。 ・運行日 3/5～当面の間 | | |  <p>△「ムーミンバレーパーク」ラッピングバス</p> | | |
| <p>○「ムーミンバレーパーク」ラッピングバス運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行日 3月下旬～当面の間 ・運行バス 西武バス、イーグルバス、国際興業バス 各1両 ・運行区間 飯能駅北口～メッツァ、飯能駅北口～メッツァ～武蔵高萩駅など | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市内の観光施設利用とあわせた公共交通利用を促進するため、引き続きMaaSを含めた企画等を検討していく。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標1 施策1～3 |

| | | | | | |
|---|---------------|-------------------------|-----|-----|-----------|
| 施策 | 2 | 観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施 | | | |
| 施策名 | ③ | おでかけ促進と連携した利用促進 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| 地域、市、 交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○公共交通による乗所案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の一部公共施設では、施設の最寄りの停留所の時刻表を施設内に掲示すること、施設案内冊子にバスの案内を掲載することにより利用者に対して路線バスでの乗所方法を案内している。 | | | | | |
| <p>○高齢者に対するおでかけ支援事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市において高齢者及び運転免許証返納者に対するおでかけ支援策の検討のため、庁内関係部署による検討会を実施した。（2回） | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・今後も公共交通を利用できる位置にある公共施設、商業施設等の協力により、地域の行事や地域内での買い物に路線バス等の公共交通を利用してもらえるように取組を継続し、研究を進めていく。 ・高齢者に対するおでかけ支援事業については、引き続き庁内関係課で検討を行い、令和6年度の事業実施を目指して検討を進めていく。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標1 施策5 |

| | | | | | | |
|--|----------------|-----------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 3 | バス運行環境の整備 | | | | |
| 施策名 | ① | バス待合環境の改善 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| 地域、市、 交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| | ○研究・検討 | ○検討 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○東飯能駅バス停へのはしらベンチ設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からの要望を受け、東飯能駅バス停にはしらベンチ2基を設置した。 <p>○新寺バス停へのはしらベンチ設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 飯能市乗合ワゴンと国際興業バス名栗本線の交通結節点である「新寺」にはしらベンチ1基を設置した。 | | | | | | |
|  | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 今後も主要なバス停において、快適に利用できるよう環境整備を検討していく。 市内の「危険なバス停」については、今後も国際興業(株)、飯能警察署及び市の3者で連携し、停留所ごとに対策を検討することを予定している。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標2 施策1 | |

| | | | | | | |
|--|----------------|----------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 3 | バス運行環境の整備 | | | | |
| 施策名 | ② | 施設を活用した待合環境の整備 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| 市、地域、 交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| | ○検討 | ○検討 | ○検討 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○「新寺」バス停の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線再編により乗換拠点となる「新寺」2番バス停に乗換表示を設置した。 土地管理者等の協力により「新寺」1番バス停付近の施設駐車場にワゴンが待機できるようにした。 | | | | | | |
|  <p style="text-align: right;">△新寺2番バス停</p> | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 「新寺」バス停については、中藤方面からの支線路線と幹線路線である名栗本線の交通結節点（乗換拠点）となるため、環境整備が課題である。 今後も「幹線」と「支線」の結節点を見極めて対象箇所の選定を行っていく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標2 施策1 | |

| | | | | | | |
|---|---------------|---------------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 3 | バス運行環境の整備 | | | | |
| 施策名 | ③ | 飯能駅北口ロータリー周辺の使い方の改善 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 交通事業者、市 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ○検討 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○飯能駅北口ロータリーへのはしらベンチ設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望を受け、西武鉄道㈱との協議により飯能駅北口ロータリー内（1番のりばと2番のりばの間）にはしらベンチ2基を設置した。 | | | | | | |
|  | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・飯能駅北口ロータリー内の一般車両等による混雑が、バス、タクシーの円滑な運行に支障をきたしている。 ・飯能駅北口発着のバスについて利用者の利便性向上のための施策を検討する。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標2 施策2 | |

| | | | | | | |
|---|---------------|---------------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 3 | バス運行環境の整備 | | | | |
| 施策名 | ④ | 市内道路網の課題解決に向けた取組の実施 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路阿須小久保線と市道1-5号線との交差点工事に向けて用地交渉中である。 ・区画整理除外区域の阿須小久保線の開通に向けて用地交渉中である。 | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一連の整備工事完成後のメッツァとトーベ・ヤンソンあげほの子ども森公園の相互アクセス利便性の向上のための公共交通施策について、交通事業者等と協議していく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標2 施策2 | |

| | | | | | | |
|---|----------------|--------------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 4 | 需要に対応したバス路線の見直し | | | | |
| 施策名 | ① | 施設立地等に対応したバス路線の見直し | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| 交通事業者、市 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○国際興業バス路線における上限運賃改定の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 3/16 ・埼玉県内の路線において安全・安定的に運行を継続するための施策の一環として実施した。 <p>○飯能市乗合ワゴン（精明・加治）の運行内容の一部変更検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行上の安全面確保のため、一部経路及び運行時刻改正の検討を行った。 <p>○飯能市乗合ワゴン（原市場・南高麗）の時刻表改正の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行上の安全面確保のため、両地区の各系統の運行時刻の改正の検討を行った。 | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本格運行を開始した飯能市乗合ワゴン（精明・加治）について、区画整理事業による道路新設等が予定されており、路線変更等の検討を継続的に行う。 ・路線再編の一環として運行している飯能市乗合ワゴン（原市場・南高麗）について、実証運行の利用実績等を集計、分析し、運行内容の見直しを行う。 ・メツア行直通シャトルバスについて、運行事業者3社の協力のもと円滑な運行が続けられているが、東飯能駅発着便（m02系統）は運休が続いている。 ・軸となる路線を含めたその他の路線についても、必要に応じて交通事業者と市で協議していく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標3 施策1 | |



基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」

| | | | | | |
|---|---------------|------------------------|-----|-----|--|
| 施策 | 1 | バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進 | | | |
| 施策名 | ① | わかりやすいバス案内看板の設置 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| 市、交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○飯能駅北口のバス案内看板</p> <ul style="list-style-type: none"> 看板盤面の全面修正を実施した。 系統、バス停名、観光スポット紹介の内容を更新した。 | | | | | |
| | | | | |  |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> 引き続き必要に応じてバス案内看板のメンテナンスを実施していく。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標1 施策3 |





| | | | | | |
|--|----------------|------------------------|-----|-----|---|
| 施策 | 1 | バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進 | | | |
| 施策名 | ② | バスマップの作成・配布 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| 市 | ◎実施 (改訂・増刷) | ◎実施 (増刷) | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○「飯能市公共交通マップ」の作製</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年3月作成「飯能市バスルートマップ」を刷新し、以下の欄を追加した。 飯能市乗合ワゴンの紹介、タクシーの紹介、奥武蔵らくらく交通の紹介 各社バスロケーションシステム、時刻表検索紹介欄 「路線バスでお出かけしよう！」欄 「名栗方面路線バスの歴史」欄 路線情報を最新のものに更新（飯能市乗合ワゴン路線等を追記） | | | | | |
| | | | | |  |
| | | | | | △飯能市公共交通マップ |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> 公共交通を使ってもらいやすくなるよう、市内の公共施設、商業施設等を通して市民及び観光客等の来訪者に引き続き配布していく。また、警察と連携し、運転免許返納者に対して配付できるよう進めていく。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標1 施策3 |


| | | | | | | |
|---|---------------|------------------------------|-----|-----|-----------|--|
| 施策 | 2 | 市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施 | | | | |
| 施策名 | ① | まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 交通事業者、市 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○交通事業者の各種サービスのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 市HPで交通事業者による以下のサービスについてPRし、公共交通利用による外出促進を行った。 <ul style="list-style-type: none"> イーグルバス バス車内換気実験 国際興業バス「彩京のびのびバス」 <p>○飯能市乗合ワゴンの沿線施設におけるPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線沿線の商業施設、病院、公共施設に飯能市乗合ワゴンの停留所案内を設置し、利用PRを行った。 | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 市内の公共交通の現状、各施策、サービス等について、市HP等を通して周知を行っていく。 市内の商業施設、集客施設との連携を強化し、外出を促進するための公共交通活用方策を検討する。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策3 | |

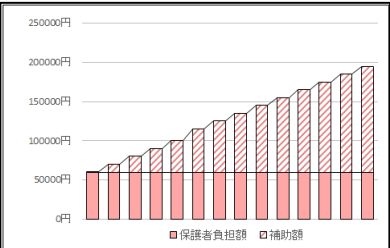
| | | | | | | |
|---|---------------|------------------------------|-----|-----|---|--|
| 施策 | 2 | 市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施 | | | | |
| 施策名 | ② | 通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、地域、交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○職員ノーマイカーデーの実施</p> <p>飯能新緑ツーデーマーチの会場設営等の前日準備を円滑に行うため、また市職員の公共交通機関の積極的な利用を促すため実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施日 5/27 ※飯能新緑ツーデーマーチ前日 対象 飯能市役所職員 参加者 140人（うち82人が公共交通を利用して通勤） <p>○「飯能市乗合ワゴン特別乗車キャンペーン」の実施</p> <p>名栗街道を運行するバス路線の支線として実証運行をしている飯能市乗合ワゴンの利用促進として、「飯能ひな飾り展」と合わせて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 期間 3/1～3/12 対象 南高麗・原市場・名栗地区 内容 飯能ひな飾り展に合わせ特別乗車券付きリーフレットを配布した。 実績 使用枚数 19枚（原市場系統） 62枚（南高麗系統） ※利用実績 | | | | | | |
| | | | | |  | |
| | | | | | △キャンペーンリーフレット | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 職員ノーマイカーデーについて、引き続き新緑ツーデーマーチ前日に実施する。 令和3年度まで実施していた全市的なノーマイカーデーについて、令和5年度以降実施を検討する。 また、ダイヤプラン公共交通部会において、構成市による共同開催について研究、検討を進める。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策3 | |

| | | | | | | |
|--|---------------|-------------|-----|-----|---|--|
| 施策 | 3 | マイバス意識の醸成 | | | | |
| 施策名 | ① | バスを使ってもらう取組 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、地域、 交通事業者 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○ギャラリーバス「昔のバス・未来のバスはどんなバス?～児童絵画展～」運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 11/1～1/31 国際興業バス車内で展示 ・内 容 市内小学生から募集したバスの絵を展示して運行した。 <p>○記念乗車券・記念グッズ販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容 記念乗車券、記念グッズ（バッグホルダー）を販売した。 <p>○路線バス車内OBCの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際興業㈱の協力により、市内路線バス車内で飯能市の観光PR及び感染症対策の動画を放映した。 | | | | | | |
| | | | | |  △ギャラリーバス車内 | |
| | | | | |  △記念乗車券 | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス車内における動画放映は国際興業㈱の協力により、引き続き実施する。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策3 | |

| | | | | | | |
|--|---------------|-----------------|-----|-----|---|--|
| 施策 | 3 | マイバス意識の醸成 | | | | |
| 施策名 | ② | バスのことを理解してもらう取組 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | |
| | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| 市、交通事業 者、地域 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○記念展示「名栗バス路線展」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 ① 7/20～8/15（博物館） ② 8/20～9/9（市民活動センター） ③ 9/22～10/31（名栗地区行政センター） ④ 11/2～11/30（原市場地区行政センター） ・内 容 名栗街道にバスが開通する少し前から現代に至るまでの写真や物品展示 <p>○「なるほど！乗合バス！ inみんな活サマー2022」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 8/7 会場：市民活動センター ・内 容 記念乗車券の販売、スタンプラリー、バスクイズなど ・参加者 約110人 <p>○出前講座の実施（飯能市自治会連合会名栗支部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題 目 公共交通について ・会 場 市民活動センター ・実施日 12/19 ・参加者 9人 <p>○「名栗にバスが通って100周年！国際興業バスまつり」開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 2/26 ・会 場 飯能中央公園 ・内 容 車両展示、バスに関するイベント ・参 加 1,650人 | | | | | | |
| | | | | |  △名栗バス路線展（市民活動センター） | |
| | | | | |  △国際興業バスまつり | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・乗り方教室等バス事業者の協力のもとで開催し、バス利用を身近なものにしていく。 ・公共交通の利用促進を目的とした広域的な啓発事業について、ダイアプラン公共交通部会において引き続き実施を検討する。 ・市民、団体等の要請に応じて出前講座等を通して市の公共交通の現状等について理解を促していく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策3 | |

| | | | | | | |
|---|----------------|-----------------|-----|--|---|--|
| 施策 | 3 | マイバス意識の醸成 | | | | |
| 施策名 | ③ | 地域におけるマイバス意識の醸成 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| 地域、市 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○各移動手段の利用実績の周知 各地区の以下の移動手段について、毎月発行の地区行政センターだよりに利用実績を掲載し、利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯能市乗合ワゴン（精明・加治）…双柳・精明・加治・加治東地区に周知 ・飯能リハビリ館移送サービス …南高麗地区に周知 <p>○「みんなで考えようおでかけの足通信」第4号の発行（原市場・南高麗） 両地区のバス路線再編にともない、9/1～実証運行を開始した飯能市乗合ワゴン等の運行内容を周知するため、両地区全戸に配布した。</p> <p>○路線再編実証運行出発式の開催（原市場地区・南高麗地区） 両地区の路線再編による実証運行開始日である9/1に実施した。 出席：市、国際興業株、自治会連合会、民生委員ほか地域の代表者</p> | | | | | | |
| | | | |  |  | |
| | | | | △みんなで考えようおでかけの足通信 | | |
| | | | |  |  | |
| | | | | △実証運行出発式 | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・原市場地区、南高麗地区のバス路線の再編にあたっては地区検討会等を開催し、地域住民と意見交換を実施していく。また、利用実績について各地区に周知できるよう準備を進める。 ・「公共交通は地域の資源であり、自ら乗り、育てていく」という意識を醸成するため、今後も沿線住民に対して意識啓発を行い、地域住民との意見交換を実施していく。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標1 施策3 | |

| | | | | | | |
|---|----------------|------------------|--------|---|-----------|--|
| 施策 | 4 | 公共交通利用のための利便性の向上 | | | | |
| 施策名 | ① | 乗継利便性の向上 | | | | |
| 実施主体 | 実施期間 (H30~R04) | | | | | |
| 市、地域、交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | |
| | ○研究・検討 | ○研究・検討 | ○研究・検討 | ○研究・検討 | ◎実施 | |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○サイクル・アンド・バスライドの観点から、国際興業バス「新寺」バス停付近の自転車置き場の管理を継続して行った。</p> <p>○「さわらびの湯」におけるパーク・アンド・ライドの実施 マイカー利用者による登山者の増加により、さわらびの湯駐車場が早朝より満車となる事態が大型連休期間を中心に発生している。対策として近隣施設である名栗スポーツ広場駐車場を隔地駐車場として設定し、路線バスを利用したパーク・アンド・ライドを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間 4/29～5/5 6日間 ・実 績 名栗スポーツ広場駐車台数 112台 <p>○接続便の表示 飯能市乗合ワゴン新寺便に接続する名栗本線の大型バスに支線への「接続便」である旨をバスのダッシュボード部分に表示した。</p> | | | | | | |
| | | | |  | | |
| | | | | △新寺自転車置き場 | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「新寺」以外の停留所についても、サイクル・アンド・バスライドができる環境整備について地域からのニーズ等を踏まえた上で検討を進める。 | | | | | 実施 | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | |
| | | | | | 基本目標2 施策2 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------------------|------------------|-----|-----|-----------|--|----|-------|------------------------------|------|-----------------------------|--|--------|-------|--------------------------------|------|------------------------------|
| 施策 | 4 | 公共交通利用のための利便性の向上 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施策名 | ② | 高等学校等バス通学費補助 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | | | | | | | | | | | | |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | | | | | | | | | | | | |
| R04実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○補助制度の見直し（拡大） 令和元年度に実施したアンケート結果等を基に制度の見直しを行い、対象者及び補助金額の拡大を行った。</p> <p>・改正内容</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td></td> <td>従来</td> </tr> <tr> <td>補助対象者</td> <td>年間の通学バス定期券の購入額が10万円以上の学生の保護者</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>定期券購入額に伴って逦増した保護者負担額を差し引いた額</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td></td> <td>令和4年度～</td> </tr> <tr> <td>補助対象者</td> <td>年間の通学バス定期券の購入額が6万円以上の学生又はその保護者</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>定期券購入額から保護者負担額（6万円）を差し引いた額全額</td> </tr> </table>  <p>△令和4年度からの補助イメージ</p> <p>○令和4年度交付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 147件（前年度比+100件） ・補助金額 約670万円（+約550万円） | | | | | | | 従来 | 補助対象者 | 年間の通学バス定期券の購入額が10万円以上の学生の保護者 | 補助金額 | 定期券購入額に伴って逦増した保護者負担額を差し引いた額 | | 令和4年度～ | 補助対象者 | 年間の通学バス定期券の購入額が6万円以上の学生又はその保護者 | 補助金額 | 定期券購入額から保護者負担額（6万円）を差し引いた額全額 |
| | 従来 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助対象者 | 年間の通学バス定期券の購入額が10万円以上の学生の保護者 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助金額 | 定期券購入額に伴って逦増した保護者負担額を差し引いた額 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 令和4年度～ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助対象者 | 年間の通学バス定期券の購入額が6万円以上の学生又はその保護者 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助金額 | 定期券購入額から保護者負担額（6万円）を差し引いた額全額 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | | |
| <p>・制度改正により交付実績が前年度比100件増となった。今後も山間地域のバス路線維持のため補助を実施していく。</p> | | | | | 実施 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 基本目標1 施策4 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---|---------------|------------------|-----|-----|-----------|
| 施策 | 4 | 公共交通利用のための利便性の向上 | | | |
| 施策名 | ③ | 利便性向上のための設備投資 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| 市、交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R03実績 | | | | | |
| <p>○「バスまちスポット」「まち愛スポット」の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内のバスまちスポット、まち愛スポットについて時刻表の更新等を行った。 <p>○西武バス美杉台路線における自動運転実証実験の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西武バス株、その他関係事業者とともに、当該路線における自動運転実証実験のための検討を実施した。 | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <p>・自動運転を含めた新しいモビリティサービス導入について、関係事業者とともに継続的に研究を行う。</p> <p>・飯能市乗合ワゴンについて時刻表をネット検索できるよう運行情報のオープンデータ化の検討を行う。</p> <p>・市内の「バスまちスポット」、「まち愛スポット」の新規設置について候補場所の検討を行う。</p> <p>・その他、市民だけでなく観光客等の来訪者も利用しやすい公共交通について検討する。</p> <p>※鉄道駅のバリアフリー化について、市内の駅ホーム内方線付き点状ブロック整備対象の駅（飯能駅、JR・東飯能駅、西武・東飯能駅、元加治駅）は全て整備済となった。</p> | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標2 施策3 |

基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」

| | | | | | | |
|--|---|-------------------|-----|-----|-----|----------|
| 施策 | 1 | 「おでかけ」を守るための検討 | | | | |
| 事業 | ① | 飯能市地域公共交通対策協議会の運営 | | | | |
| 実施主体 | | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| | | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| 市 | | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○以下のとおり、飯能市地域公共交通対策協議会を開催した。（6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第18回（5/30） 議事：支線乗合交通の実証運行案について ほか ・第19回（書面） 議事：スクールバスの混乗化に伴う運賃設定について ・第20回（11/7） 議事：飯能市地域公共交通計画（素案）について ほか ・第21回（書面） 議事：地域内フィーダー系統確保維持事業に係る一次評価について ほか ・第22回（書面） 議事：国際興業バスの一部系統における協議運賃適用除外について ・第23回（3/29） 議事：第2次飯能市地域公共交通計画（案）について ほか <p>○地域公共交通計画の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2次飯能市地域公共交通計画」を策定した。（策定経緯） ・7～8月 市民アンケート調査実施 ・11月 計画素案を策定（第20回飯能市地域公共交通対策協議会で承認） ・12月 パブリックコメント実施 ・1月 市議会と協議（第2次飯能市地域公共交通計画策定協議会を開催） ・3月 第23回飯能市地域公共交通対策協議会で承認（その後、策定） | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・今後も必要に応じて協議会及び分科会を開催し、重要事項について審議する。 ※次期計画には個別施策としては掲載しない。 | | | | | | 実施 |
| | | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | | — |

| | | | | | | |
|--|---|------------------------|-----|-----|-----|-----------|
| 施策 | 1 | 「おでかけ」を守るための検討 | | | | |
| 事業 | ② | 地域での交通手段を導入するための仕組みづくり | | | | |
| 実施主体 | | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| | | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| 市、地域 | | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | | |
| <p>○飯能市公共交通空白地有償運送支援事業補助金交付実績（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者 NPO法人奥武蔵グリーンリゾート ・金額 50万円 ・対象 自動車保険料（10/10）、車両点検料をはじめとして設備整備費（1/2）を補助した。 | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共交通の不十分な地域における移動手段の導入について、住民が求めている運行内容について意見交換を行う。 ・「地域主体による交通手段の導入・確保の手引き」（令和元年5月策定）について、法改正等に対応しながらよりわかりやすくなるよう必要に応じて内容を見直す。 | | | | | | 実施 |
| | | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | | 基本目標3 施策2 |

| | | | | | |
|---|---------------|------------------|-----|-----|-----------|
| 施策 | 1 | 「おでかけ」を守るための検討 | | | |
| 事業 | ③ | 地域による主体的な運営組織づくり | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| 地域、市 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○以下のとおり、各地区の端末交通手段の担い手である団体の運営組織づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯能リハビリ館（医療法人徳明会）による移送サービスの運行内容について協議を行った。（2回） <p>○参考</p> <p>NPO法人奥武蔵グリーンリゾートにより自家有償旅客運送事業「奥武蔵らくらく交通」を運行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行実績（前年比） 運行回数：918回（-49回） 輸送人員：1,164人（-114人） 走行距離：7400.5km（+750.8km） | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市内には公共交通が不十分である地域が依然として存在し、端末交通手段の導入が課題となっている。各地区において交通手段の確保を実現するため、担い手となる地域団体等と検討する場を設ける必要がある。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標3 施策2 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------|------------|----------|----------|-----------|--|----|----|-----|----|---|---|--|-----|--|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 施策 | 2 | 社会資源の活用を検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業 | ① | スクールバスの混乗 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市、交通事業者 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ◎実施（実証実験） | ◎実施（本格運行） | ○未実施（運休） | ○未実施（運休） | ○未実施（運休） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| R04実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○奥武蔵小学校スクールバス一般住民の混乗制度を以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 実績 運行実績なし ※新型コロナウイルス感染症の影響により運休している。 <p>コース別利用者数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>北川</td> <td>奥小</td> <td>東吾野</td> <td>南川</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>朝</td> <td></td> <td colspan="2" style="border: 2px solid red;">運休中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>夕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○その他通学用バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般乗合で運行する通学用バスについて交通事業者と市においてシステムの整理を行い、運賃体系の改正を実施した。 | | | | | | | 北川 | 奥小 | 東吾野 | 南川 | 計 | 朝 | | 運休中 | | | | 夕 | | | | | |
| | 北川 | 奥小 | 東吾野 | 南川 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 朝 | | 運休中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 夕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>○奥武蔵小学校スクールバス一般住民の混乗制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年3月5日から運休している。 ・教育委員会（奥武蔵小学校）と地域住民の意向を踏まえて、事業の再開及び事業内容の見直しについて検討する。 | | | | | 未実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 次期計画関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 基本目標3 施策2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|--|---------------|------------|-----|-----|-----------|
| 施策 | 2 | 社会資源の活用の検討 | | | |
| 事業 | ② | 送迎バスの活用検討 | | | |
| 実施主体 | 実施期間（H30～R04） | | | | |
| 市、地域 | H30 | R01 | R02 | R03 | R04 |
| | ○研究・検討 | ○研究・検討 | ◎実施 | ◎実施 | ◎実施 |
| R04実績 | | | | | |
| <p>○「飯能リハビリ館の送迎車の空席を活用した移送事業」実証運行 間野黒指線の路線再編を踏まえて令和4年10月から一部運行経路を変更し、川崎地区に経路を設定した。</p> <p>実績（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 53名（3/31現在） ・4～8月（経路変更前） <ul style="list-style-type: none"> ・運行日数 22日（毎週金曜） ・利用者数 延べ38名（1日平均 1.73名） ・10～3月（経路変更後） <ul style="list-style-type: none"> ・運行日数 25日（毎週火曜） ・利用者数 延べ37人（1日平均 1.54人） <p>○飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」（精明地区・加治地区）</p> <p>実績（令和4年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行便数 1,304便 ・利用者数 4,957人（便平均3.80） <ul style="list-style-type: none"> ・精明東 1,649人（便平均5.06） ・精明西 1,190人（便平均3.65） ・加 治 2,118人（便平均3.25） | | | | | |
| 今後の課題 | | | | | 実績 |
| ・社会福祉法人等が所有する送迎車両を活用した地域の移動手段となるサービスの導入について、引き続き法人等と調整、検討する。 | | | | | 実施 |
| | | | | | 次期計画関連項目 |
| | | | | | 基本目標3 施策2 |